

# 木材に対して想定される「見える化」の手法について(検討のポイント)

- 見える化の意義(目的)について、ご確認頂きたい。
- 想定される「見える化」の手法について、
  - ・ それぞれの手法のメリット(森林整備、木材産業、製品供給者、消費者としての観点等)
  - ・ 見える化の意義(目的)との整合性
 についてご議論頂きたい。
- 当該議論を基に、検討を深化させるべき「見える化」の手法を洗い出すとともに、次回検討会で導入にあたっての課題整理を行いたい。

## ○ 見える化の意義(目的)

- ◆ ① 森林・林業・木材産業関係者の温室効果ガス排出削減の努力
  - ② 木材製品の利用による炭素固定効果
  - ③ バイオマスの化石資源代替効果
- を消費者に示すことで、地球温暖化対策に貢献する森林・林業・木材産業の振興に資する
- ◆(化石資源等CO<sub>2</sub>排出型資源からバイオマスへの転換の加速化に資する)
  - ◆温室効果ガスの排出を国民が認識し、省CO<sub>2</sub>型の生活を選択することに資する

## ○ 想定される「見える化」の手法と検討のポイント

### 想定される「見える化」の手法

1. 化石燃料の使用抑制と炭素の固定
  - ・ 省エネ資材  
(例:炭素〇トンを排出、炭素〇トンを排出削減 等)
  - ・ 炭素貯蔵  
(例:炭素〇トンを貯蔵 等)
2. 森林整備への貢献  
(例:〇haの間伐に貢献 等)

### 検討のポイント

- ・ 供給サイド(森林・木材産業事業者)と消費サイド(消費者・一般企業調達部門)のそれぞれのメリット(・デメリット)
- ・ 「見える化」の想定される手法と「見える化」の意義との整合性

など